

平成25年度 岐阜県高等学校バスケットボール新人大会  
 兼 東海高等学校バスケットボール新人大会県予選会  
 大会最終日：平成26年2月2日(日)  
 会場：関わかくさプラザ

## 男子の部

<審判>

5位決定戦 富田 74  $\left[ \begin{array}{l} 18 - 15 \\ 18 - 13 \\ 19 - 15 \\ 19 - 20 \end{array} \right]$  63 大垣養老 後藤慎二・廣瀬卓哉

決勝リーグ 美濃加茂 65  $\left[ \begin{array}{l} 7 - 12 \\ 16 - 19 \\ 21 - 11 \\ 21 - 14 \end{array} \right]$  56 中津川工 津田健介・野々村日希  
 (2勝) (2敗)

両チーム、ハーフコートマンツーマンでスタート。開始3分、中津川工は速いオフェンスから6-0とリードを奪う。美濃加茂はドライブからの得点で応戦する。両チームとも激しいディフェンスを展開し、思うように得点することができない。第1ピリオドは12-7と中津川工がリードする。

第2ピリオド、中津川工は固いディフェンスから相手のミス誘い、⑥木村がインサイド、アウトサイド両面の攻撃でこのピリオド9得点の活躍を見せる。また、中津川工は途中から3-2ゾーンを仕掛け、④鶴飼がうまくゲームをコントロールする。美濃加茂は⑤瀬織を中心に全員で得点を重ねるが、流れを引き寄せることができない。前半は31-23で中津川工がリードして折り返す。

第3ピリオドに入ると試合の流れが変わる。美濃加茂は④沼田⑦安藤⑧山田がオフェンスリバウンドから次々と得点する。中津川工は⑨勝野、⑥木村の3点シュートなどで応戦するが得点のペースが落ちる。残り1分で、美濃加茂⑥真鍋がゴール下シュートを決め、美濃加茂がこの試合初めてのリードを奪う。

美濃加茂が2点リードで迎えた第4ピリオド、開始早々、美濃加茂⑤瀬織が2連続3点シュートで一気に流れをつかむと、⑥真鍋のミドルシュートなど連続6得点でリードを広げる。最後は美濃加茂が勢いに乗って65-56で勝ち、決勝リーグ2勝目を懸命に勝ち取った。中津川工は④鶴飼のドライブや3点シュート、④鶴飼から⑥木村へのゴール下へのアシストで得点し、最後までボールを追い反撃をみせるが、再逆転はならなかった。(田中真紀)

決勝リーグ 岐阜農林 95  $\left[ \begin{array}{l} 29 - 7 \\ 19 - 10 \\ 24 - 11 \\ 23 - 12 \end{array} \right]$  40 岐阜総合 古田 怜・宮崎泰彦  
 (2勝) (2敗)

第1ピリオド、両チームともマンツーマンディフェンスで開始する。岐阜農林は立ち上がりから⑤野原の3連続3点シュートや、⑰増本のオフェンスリバウンドからセカンドチャンスを決めるなど、一気に差を付ける。岐阜総合は⑮松岡が果敢に得点を狙うも、岐阜農林のディフェンスに阻まれシュートをなかなか決められず、このピリオドを僅か7点で終える。第1ピリオドは岐阜農林が29-7でリードする。

第2ピリオド、岐阜農林は⑪大坪、⑰増本が立て続けにオフェンスリバウンドを奪い、着実に得点を重ねる。終了間際には⑤野原、④松岡の連続3点シュートが決まり更にリードを広げる。岐阜総合は⑤新川、④森口が積極的にシュートを打ち得点をあげるが、追いつけるまでにはいかない。岐阜農林が48-17と大きくリードし、前半を終える。

第3ピリオド、岐阜農林は激しいディフェンスで相手のミス誘い、速い展開に持ち込み、⑤野原、④松岡の3点シュートなどで得点を重ねる。岐阜総合は⑦栗原がスティールから速攻を決めるなど対抗するが、後半はシュートの確率が落ち、得点が伸びない。岐阜農林が72-28でリードし第3ピリオドを終える。

第4ピリオド、岐阜農林はベンチメンバーが活躍を見せ、⑩梅田がドライブから得点をすれば、⑱川本のオフェンスリバウンドからの得点やゴール下での合わせのプレーが決まる。最後は95-40で、岐阜農林が決勝リーグ2勝目を上げた。岐阜総合は⑯山本が粘り強くリバウンドに絡み得点に繋げ、⑰國島もドライブからファールをうけてカウントワンスローを決めるなど、最後まであきらめない姿勢を見せたが、スピードや力強さで圧倒された。(高木大志)

決勝 リーグ	岐阜農林 (3勝)	71	$\begin{bmatrix} 13 - 10 \\ 17 - 4 \\ 17 - 6 \\ 24 - 16 \end{bmatrix}$	36	美濃加茂 (2勝1敗)	大江裕之・名越龍男

両チームともに2勝で迎えた決勝リーグ最終戦、ともにハーフコートマンツーマンでスタートする。ゲームの開始当初は互いに硬さが見られ、なかなか得点が伸びない。岐阜農林は激しいディフェンスで相手のミス誘い、④松岡、⑤野原を中心に試合を組み立てる。美濃加茂は④沼田⑧山田のドライブから得点を重ねていく。第1ピリオドは岐阜農林が13-10と一歩リードする。

第2ピリオド、岐阜農林は⑩増本がリバウンドで活躍し、④松岡のドライブ、⑤野原の3点シュート、⑮大坪翔のミドルシュートなどで次々に加点して主導権を握る。美濃加茂はミスが続き、開始4分間はノーゴールとなる厳しい状況となる。前半が終わり、岐阜農林が30-14とリードして折り返す。

第3ピリオドに入って岐阜農林はスティールからの速攻できっかけをつかむと、④松岡を起点に、⑤野原、⑪大坪健がリズムよく得点を重ねていく。美濃加茂も⑦安藤、④沼田のシュートで反撃を試みるが追い上げられない。

第4ピリオド、岐阜農林は⑤野原がこのピリオドだけで12得点をあげ、⑨森の速攻、⑪大坪健のバスケットカウントなど、最後まで攻撃の手を緩めなかった。機動力のあるディフェンスと安定したシュート力で勝る岐阜農林が、決勝リーグを全勝で飾り、県高校新人大会の優勝を成し遂げた。美濃加茂はオールコートマンツーマンプレスをしかけ、⑤瀬瀬が2本の3点シュートを決めるなど、最後まで戦う姿勢を崩さずに、果敢にシュートを狙ったが及ばなかった。(田中真紀)

決勝 リーグ	中津川工 (1勝2敗)	69	$\begin{bmatrix} 12 - 16 \\ 15 - 9 \\ 26 - 12 \\ 16 - 16 \end{bmatrix}$	53	岐阜総合 (3敗)	相宮俊郎・棚橋英一

第1ピリオド、両チームともマンツーマンディフェンスで開始する。岐阜総合は⑤新川の8得点や④森口の3点シュートで得点すれば、中津川工は⑦安江のオフェンスリバウンドからのカウントワンスローや⑥木村の3点シュートなどで得点し、互角の展開となる。第1ピリオドは16-12と岐阜総合がリードする。

第2ピリオド中津川工はオフェンスリバウンドを取りチャンスを広げ、⑨勝野の3本の3点シュートや⑥木村のポストでの1対1などで得点し、逆転に成功する。岐阜総合は④森口の3点シュート、⑤新川の1対1で得点するが、オフェンスファウルを取られるなど、思うように得点することができず、このピリオドをわずか9点に終わる。中津川工が27-25と2点リードで後半を迎える。

第3ピリオド、中津川工はこのピリオドだけで⑥木村、⑨勝野が5本の3点シュートを決め、⑦安江がセカンドチャンスからの得点をあげるなどで一気にリードを広げる。岐阜総合は⑤新川が積極的にゴール下へ切れ込み得点するが、点差は埋まらない。中津川工が53-37と大きくリードし、第4ピリオドを迎える。

第4ピリオド、中津川工は⑨勝野の1対1や④鶴飼の3点シュートなどで着実に得点を重ね、相手の反撃を許さない。最後は落ち着いてファウルで得たフリースローを決め、中津川工が69-53で勝ちきり、決勝リーグで第3位となって東海新人大会の出場権を得た。岐阜総合は第4ピリオド立ち上がりには切り替えたゾーンディフェンスが成功し、④森口のシュート、⑮松岡の1対1など一気に8連続得点を挙げるなど粘りを見せたが、相手のディフェンスに対し得点を続けることができず、逆転するまでには至らなかった。(高木大志)

## 女子の部

<審判>

5位決定戦	岐阜農林	79	$\begin{bmatrix} 11 - 9 \\ 30 - 9 \\ 23 - 3 \\ 15 - 10 \end{bmatrix}$	31	長良	三宅浩平・小森公貴
-------	------	----	---	----	----	-----------

決勝リーグ	岐阜女子	129	$\begin{bmatrix} 36 - 16 \\ 25 - 10 \\ 30 - 9 \\ 38 - 6 \end{bmatrix}$	41	高山西	鈴木雅雄・田中友恵
	(2勝)				(2敗)	

お互いにマンツーマンディフェンスでスタートする。岐阜女子は、⑮村瀬の連続得点でスタートすると、激しいディフェンスから⑥谷が得点を重ねる。高山西は⑥田下と④佐藤の連続3点シュートで10-9と喰らいつく。岐阜女子は⑨田中の3点シュートで18-14とするとその後オールコートでさらにディフェンスプレッシャーを強め、④大橋恵、⑥谷のシュートなどで一気にリードする。第1ピリオドは岐阜女子が36-16で終える。

第2ピリオド、岐阜女子は激しいディフェンスからボールを奪うと、速攻やインサイドのシュートで⑥谷、⑦大橋瑠、⑨田中が次々と得点をあげる。高山西も速攻や果敢なドライブで⑫大野、④佐藤がシュートを決めるが攻め手が見出せない。前半を終わり、岐阜女子が61-26と大きくリードを奪う。

第3ピリオドに入っても岐阜女子の攻勢は変わらず、⑥谷、⑨田中の3点シュートや⑮村瀬のインサイドで得点を重ねる。高山西も④佐藤が1対1や3点シュートで粘りを見せるが、得点を伸ばせない。

第4ピリオドも、岐阜女子はメンバーを変えても固い守りで相手を封じ⑩大西を中心に、⑦大橋瑠、⑧大橋璃、⑪渡邊がインサイドから、⑰森平がアウトサイドから得点を重ね、最後は129-41の大差をつけ決勝リーグ2勝目をあげた。高山西も何とか活路を開こうとするが、相手のディフェンスを破ることはできなかった。(中田真由美)

決勝リーグ	県岐阜商	80	$\begin{bmatrix} 25 - 19 \\ 19 - 11 \\ 22 - 11 \\ 14 - 17 \end{bmatrix}$	58	土岐商	小森邦弘・片野真
	(2勝)				(2敗)	

お互いにハーフコートマンツーマンディフェンスで始まる。県岐阜商はインサイドの軸となる⑥川島、⑦藪下のゴール下シュートに④市原、⑧花田の3点シュートで次々に得点を決めていく。対する土岐商は⑤新免のレイアップシュートや3点シュート、⑥栗山のミドルシュートで対抗する。第1ピリオドは県岐阜商がリードを奪う。

第2ピリオド、県岐阜商は④市原の2連続3点シュート、⑥川島のインサイドプレー、⑧花田の3点シュート、ミドルシュートが確率よく決まり、リードを広げる。土岐商は④伊藤、⑥栗山が速攻を決めるが、相手の厳しいディフェンスに苦しみ、なかなかシュートを決められない。前半を終わり、県岐阜商が44-30と主導権を奪う。

第3ピリオドに入っても試合の流れは変わらず、県岐阜商は⑥川島のインサイド、⑤大西、⑩小林のミドルシュートで得点を重ねていく。土岐商は④伊藤、⑥栗山のシュートで対抗するが、相手に次々にオフェンスリバウンドを奪われ、点差を縮めることができない。

第4ピリオド、県岐阜商は⑧花田の2本の3点シュートや、⑨辻のシュートでリードを守りきり、最後は80-58で勝利して、決勝リーグ2勝目を勝ち取った。土岐商は相手のオールコートマンツーマンにうまく対応して⑬三好の3点シュート、⑨渡邊のレイアップシュートなどで互角の展開を見せたが、それまでの点差を詰めることができなかった。(吉福 司)

決勝 リーグ	岐阜女子 (3勝)	84	$\begin{bmatrix} 23 - 12 \\ 23 - 9 \\ 23 - 9 \\ 15 - 16 \end{bmatrix}$	46	県岐阜商 (2勝1敗)	松野瑞穂・篠田義貴

岐阜女子は④大橋恵、⑤上田のパスからインサイドで⑮村瀬、⑥谷らが次々にシュートを決めていく。県岐阜商は⑥川島のインサイド、④市原のアウトサイドシュートで応戦するが、思うように決まらず苦しい展開。第1ピリオドは岐阜女子が23-12とリードする。

第2ピリオドに入り、岐阜女子は厳しいディフェンスで相手を抑え、⑥谷のレイアップ、⑮村瀬の確実なシュートで得点を伸ばしていく。県岐阜商もディフェンスで粘りをみせ、④市原、⑤大西を中心に果敢にゴールを狙うが、相手に阻まれて思うように攻められない。前半を終わり、岐阜女子が46-21と大きくリードを奪う。

第3ピリオドに入っても岐阜女子の勢いは止まらず、④大橋恵の速攻や、速い展開の中で⑮村瀬、⑤上田、⑩大西らが次々にシュートを決めていく。県岐阜商は⑧花田が積極的にアウトサイドシュートを狙うが、得点に結びつかない。

第4ピリオド、岐阜女子はベンチメンバーに交代するが⑭伊藤の3点シュートや⑧大橋璃のインサイドシュートでリードを守り、最後は84-46のスコアで勝ち、県新人大会の連勝記録をさらに伸ばした。県岐阜商は最後まで意欲的なプレーを続け、⑥川島の連続得点や⑧花田の2連続3点シュートで意地をみせたが、追い上げるまでには至らなかった。(中田真由美)

決勝 リーグ	高山西 (1勝2敗)	78	$\begin{bmatrix} 27 - 13 \\ 15 - 17 \\ 10 - 16 \\ 26 - 12 \end{bmatrix}$	58	土岐商 (3敗)	岩永英夫・神山元秀

両チーム、ハーフコートマンツーマンでスタート。高山西は2-3ゾーンディフェンスとマンツーマンのチェンジングディフェンスで流れを作り、⑤野村のドライブ、⑥田下の3点シュートでリードを奪う。土岐商は④伊藤の3点シュート、⑤新免のドライブで応戦する。互いにドライブ中心のオフェンスで点を取り合い、第1ピリオドは高山西が27-13の14点リードとなった。

第2ピリオド、高山西は⑥田下の3点シュート、⑭戸谷のポストプレーで加点する。土岐商は⑪稲妻のミドルシュート、⑫山下の3点シュート、⑧島田のフックシュートで点差を縮める。高山西が42-30の12点リードで前半を折り返す。

第3ピリオド、高山西は、前半決まっていたドライブが決まらなくなり、④佐藤、⑧水上がミドルシュートを決めるものの、単発な攻撃に終わる。土岐商は④伊藤の3点シュート、⑪稲妻の速攻などで点差を縮め、終了間際にも⑨渡邊が速攻からレイアップシュートを沈める。第3ピリオドが終わり、高山西のリードは6点と縮まる。

第4ピリオドに入り、追い上げられた高山西は、開始早々、⑤野村、⑭戸谷のリバウンドシュートなどインサイドから得点を重ねて流れをつかむと、相手のファウルからフリースローを得て、残り5分で一気に14点差までリードを広げる。その後も優位に試合を進めた高山西が78-58で勝ちきり、第3位となって東海新人大会の出場権を獲得した。土岐商は⑥栗山のミドルシュート、⑧島田のポストプレーで応戦するも、インサイドを守り切れず、ファウルが重なって追い上げることができなかった。(野々村浩二)